

会 議 等 報 告 書

1 会議等件名

令和6年度第2回金ケ崎町総合計画審議会

2 会議開催日時及び場所

令和7年2月19日(水) 13:30~15:00

金ケ崎町役場庁舎4階 大会議室

3 会議出席者名

総合計画審議会委員17名(欠席委員:菊地成壽委員、平慶也委員、榊文仁委員)、高橋町長、鈴木副町長、小原企画財政課長、折笠課長補佐兼政策係長、千葉主査、遠藤事務補助員

4 協議事項の総括

(1) 第十一次金ケ崎町総合計画の中間評価について

たくさんの意見をいただいた。

委員の皆様のご意見を踏まえて、事務局において次期総合計画に役立てていただきたい。

詳細については、別紙のとおり

(別紙)

◆会長挨拶

会長の岩手大学の宮本です。全国的に大寒波が訪れたこともあり、金ケ崎町も真っ白なのでないかと心配してきたところですがついてみると穏やかな様子で驚いたところです。

暖かくなると雪崩等の危険性が増してきますが、その危険性が下がると春が訪れてまいります。雪崩等冬の危険性に注意いただきながら皆様が健康に春を迎えられれば幸いです。

さて、本審議会での協議事項は、第十一次金ケ崎町総合計画の中間評価についてです。良好な評価がでた事項も大事ですが、思わしくない評価がでた事項については同じかそれ以上に重要なものになります。思わしくない評価がでたものについて、意見を交わしそれをどう反映させていくかは非常に重要であります。

本日は、評価に対して皆様から貴重な意見をいただければと思いますのでよろしく願いいたします。

◆町長挨拶

委員の皆様におかれましては、お忙しいところご参加いただきましてありがとうございます。

また、日頃より町政への多大なるご理解ご協力賜り感謝申し上げます。

さて、金ケ崎町の基幹産業の農業についてですが、昨年よりコメ不足が叫ばれいまだに価格が上がり、消費者の皆様の生活にとっては大きな負担になっていると思います。政府は制度が始まって以降、初めて備蓄米の放出を開始するところですが価格が落ち着く見通しはいまだたっておりません。今回の状況をみて食の確保の重要性を改めて感じているところです。

一方で、生産者の農家においては、これまで資材肥料価格の高騰により困っていた中で今回の値上がりは、その分のいくらかを補填する形になったかなと思います。

今回参加された委員の皆様を含めて、時々、パンや麺を食べていただくのは大事なことです。ぜひお米をメインに食していただければ幸いです。

さて、今回は総合計画の中間評価に対してご意見をいただきたいと考えております。委員の皆様の忌憚のないご意見をお願いします。

◆会議成立

委員20名中、17名の出席により、総合計画審議会条例第6条第2項の規定により、会議成立

3 協議

(1) 第十一次金ケ崎町総合計画の中間評価について

◆説明

事務局（企画財政課折笠課長補佐）から別添資料について説明。

【資料No. 1、2-1、2-2、2-3、2-4】

◆協議（以下敬称略）

【A委員】

基本構想の1番目の生活環境の「快適で安全・安心な暮らしと環境にやさしいまち」についてご意見します。

最近新聞報道でいいと思ったことがある。ひとつは田園バスの拡充である。県交通の国道4号、旧4号線を縦断するルート of 運航がなくなった。その対応として町でバスを走らせていただいている。もう少し早めの対応があればありがたい。

もうひとつは千貫石の雪遊びのニュースである。企業の協力で子供たちが自然とふれあう機会を提供していいと感じた。町の方で自然観察会の計画をしているとのことですが実績をお伺いしたい。

最後に防災訓練があった秋を予定していたが町から春にしてほしいと依頼があった、各行事については、自治会と連携して取り組んでほしい。

【折笠課長補佐】

田園バスに関して、公共交通会議を開いて、いろいろと検討を進めており、令和8年4月からのダイヤ改正等という形で進んでいます。拡充の話は、国道4号線での代替バス運行の話だと思えます。そういった対応もしています。もっと早めにといいご意見がありますので、ニーズを敏感に把握しながら進めていければと思います。

自然と触れ合う機会については、生物多様性金ヶ崎地域戦略推進協議会というものがあり、こちらの中でも進められています。そのほか、自然体験教室として、西小学校の児童たちと水生生物調査をいうものを実施しています。

【小原課長】

防災訓練の実施時期について、例年8月下旬に実施していたものを4月当初に変更したことの事前連絡が遅かったということかと思えます。例年通りの8月だと台風シーズンにあたるということもあり、年度の初めに実施した方が良いのではないかとの考えをもとに変更したと聞いております。協力していただく自治会の予定というものもあると思えますので、その辺は早め早めに連絡して、連携して実施していけるよう心がけていきたいと思えます。

【B委員】

良いことについて、民生委員児童委員の活動について研修会を開催するようになっており、継続となっている。民生委員・児童委員では毎月定例会を開いて勉強をしている。

よくないと感じたことは、資料2-4の被避難支援要支援者の非同意者が多いと災害などがあつたときに私たちも中々助けにいけない。少しでも非同意者が減るように

地域で頼れる人がいる人が約半数。半分が頼れる人がいないと感じているということ。民生委員としてはこの人数が少しでも減るようにしなければと感じた。

【折笠課長補佐】

被避難要支援者の割合の件、現状地16.7に対して、令和5年度実績は27まで上がってはきているものの、目標値50%にはまだまだといったところです。他の地区と比べてかなり低いというお話をいただきました。他の地区と比べてどの程度なのかという認識がありませんでしたので、内部で共有し、目標に向けて進めていければと思います。

地域に頼れる人がいると答えた町民の割合について、令和5年度実績が51.6%でした。目標値としては61%としています。こちらは令和3年度の現場地に対しても下がっております。こちらでも大切なことだと思いますので、ご意見を共有して、何かしらの取り組みに繋げていければと思っております。

【宮本ともみ会長】

同意するにあたっての不安材料を減らすことで、同意者が増えるのではないかとの含みもありましたので、よろしく願います。

【C委員】

資料1で中間の評価を見たが、すこし厳しい評価がでたと感じている。

改善のやり方を厳しくやってもいいのではないかと感じている。

私もアンケートを回答したことがあるが、わかる範囲とわからない範囲があり回答が大変な印象も受けている。ただ、もうすこしバランスのいい結果が出てもいいのではないかと思う。この結果をどのようにとらえているのか聞いてみたい。

町内に働きたい場所があるかどうかについて、アンケートの男女別の集計などもとっているのか。

スポーツ環境に関する項目について、評価は人数評価であると思うがコロナで利用者が減ったこともあると思うが、最近は地域全体で施設を利用する形でなく小さなサークルが使うケースも増えており人数評価が適切か検討が必要と思われる。人数だけでなく利用時間などでの評価もできるのではないか。

【折笠課長補佐】

アンケートの項目が多くわかりづらく、それによって回答のばらつきも変わると思うという指摘かと思う。アンケートについては、背景や聞かれていることがわかりやすく伝えられるようにしたいと思う。

現在、委託して分析を行っている。アンケートについては、性別、年齢、職業などの属性別に分類して調査している。製造業の方については、働く環境があると感じているがサービス業の方については、感じていない割合が高い。今後もこういった形で属性の分析も進めていきたい。

スポーツ施設の利用に対する評価については、現在の指標の背景を確認しどういった指標の立て方がふさわしいか検討していきたい。

【D委員】

基本構想において、14項目のうち13が遅れていると評価されている。なぜ悪いのかの評価についてイエスかノーかのしか聞けておらず、何が不満に思っているか、何が評価されているのか聞かないと評価が難しいのではないかと思う。そのため、もう少し詳しくアンケートを取るべきではないか。すべてを細かくするのは難しいと思うが一つ二つでいいからよく感じていない理由を聞いてもいいと思う。そうしないと中間評価が次に生きてこないと思う。

資料2-1を見て非常にながかりした。健康福祉の項目においてすべて後退している。自分も頑張っていると感じているが、役場としっかり協議して次期計画に入れていかないといけないと感じている。こういった評価は当協議会においても情報共有して

いただき、一緒に進めていかなければならないと感じた。

AとDが半々なのはよろしくない状況だと思う。Dをどうやって減らしていくか日常の業務の中で役場内だけでなく関係団体の中でも考えていかないといけないと思う。どうしたら金ケ崎町が明るい町になるか考え実践していかなければならないと思う。

【折笠課長補佐】

今のアンケート評価では意見の吸い上げがうまくいっていないのではないかという指摘かと思う。自由記述はアンケートの最後にあるだけなので

総合計画だけでなくそれに付随する各分野の計画がある。それらの計画の情報と今回のアンケート結果を並べてどうしてこういった状況か確認したいと思う。

ご意見のとおり福祉分野の評価が思わしくない。

【E委員】

基本構想の管理シートの達成について遅れている事業が大半であるとなっている。

例えば、地域医療の関係をみると指標がおかれているが、それに伴い取り組んでいる事業の内容が基本構想とつながっているかを吟味しなければならないと感じる。

基本構想は数年間続けていくと思うので、そういった点を見ていく必要がある。

資料2-2の14ページの町の福祉サービスが充実していると感じている割合があるが「普通」という評価が多い。この「普通」という評価を町はどうとらえているのか。場合によっては「普通」がなく、感じている・いないのみ評価でもいいかもしれない。

【折笠課長補佐】

目標指標と事業の関連度が必ずしも大きくないのではないかという指摘かという意見かと思う。今回の分析においてそういった可能性も見えてきており、次期の計画を策定する際にはいかに指標を押し上げていくかをしっかり考えていきたい。

また、目標設定の考え方のところにあるのですが、普通と答えた人をどちらかと言ったらネガティブな意見と捉えています。普通の人をより上の方に持っていきたいというのが目標設定の考え方になります。実際、普通と考えている人がどう感じているのか分からない。それをさらに上に押し上げようとする、実はハードルの高い目標値になっていたのではないかということも考えているところです。

先ほど、D・E両委員から話があったように、不満などの悪い要素をより無くなるような展開がそもそも行政のすべきところというところもありつつ、一方でより良くしたいというところもあるので、その辺も整理しながら進めていきたいと思います。

また、アンケートに関しても、再度検討を進めていきたいと思います。

【D委員】

令和6年度もアンケートをとって次期総合計画の策定につなげると思う。そのことを考えると今度のアンケートではしっかり検討してほしい。

【折笠課長補佐】

毎年3月頃にアンケートを実施しております。現在、今年度のアンケートに向けて内容も検討しているところです。アンケートの分析について、今年度民間業者への業務委託と岩手県立大学との協働研究という二本立てで進めております。その中でもアンケート内容の見直しについて検討しております。どちらからも言われているのが、アンケート結果の継続性を重視する場合、項目の順番を変えただけでもニュアンスが変わるということです。

継続性を重視するのか、次に向けたブラッシュアップ、変えていくのかというのは、選択を迫られるところがあります。

【宮本ともみ会長】

アンケートに関して、大学の中期計画でも、その計画の途中で項目を変えるのは難しいと言われていました。ただ、委員のおっしゃることはとても貴重で、せっかくやるのであればということで、自由記述などを活用して、町民が何を望んでいるのかが分かるような工夫はできるのではないかなと感じました。

【F委員】

基本構想の管理シートの主治医、かかりつけ医のいる割合が下がってきているが、先生のたらい回し的なのは減っているのではないかなと思う。そういうことを考えるとアンケートの取り方しだいであると感じる。

皆さん病院を変えることはすくないと思う。

【折笠課長補佐】

アンケートの結果と肌感覚の乖離があるという意見かと思う。この調査結果と肌感覚の乖離にも注目して、紐解いていければと思っています。

【G委員】

20年ほど前は女性の社会進出を進めてきてきたが、最近では、子供たちを預けて社会にできるのは当たり前な社会になった。しかし、一方で20代の自殺も多い。過去には経済の発展のために社会進出を進めてきたが、現在は男女共同参画の在り方も見直さないといけないと思う。本当の豊かさとは何かを考えていかなければいけないと思う。

【折笠課長補佐】

経済だけでなく、心の豊かさにも注目して政策をすすめていかないといけないという意見かと思う。

【H委員】

次期総合計画の策定にあたって、アンケートや座談会などをして進めていくようですが、女性百人会は各種助成団体を合わせて11年前に発足した。これまで町の支援を受けてきたが、昨年度から予算が減っている。要望になるが、ぜひ職員の方たちも私たちの活動に足を運んでいただいて、こういった紙での評価だけでなく、事業計画や実際の現場を感じて評価をお願いしたい。

【折笠課長補佐】

指標を数字だけでなく肌感覚にも留意して考えていきたいと思う。

◆総括

【宮本ともみ会長】

たくさんの意見をいただいた。

委員の皆様のご意見を踏まえて、事務局において次期総合計画に役立てていただきたい。

以 上